

# 説教 「神の子イエスの誕生」

(イザヤ書一―一章一―五節、ヨハネによる福音書一章一四―一八節)

二〇〇九年二月二〇日(日)クリスマス主日礼拝

日本基督教団 仙川教会

大串肇

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。(一章一四節)

皆さん、「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」。これは、第四福音書が伝えるクリスマスメッセージです。ここには羊飼いや馬小屋、飼葉桶も天使も、またマリアもヨセフさえも登場してきません。はじめての方々にとりましてはいささか拍子抜けのような感じがするようではありますが、クリスマス主人公は主イエス・キリストであり、御子のご誕生をこういう独特な形で伝えているのがヨハネによる福音書の特徴です。おそらく初代教会のクリスマス讃美歌、ロゴス賛歌と呼ばれた賛歌が中心となってこのヨハネによる福音書のプロローグは描かれています。ここでは主イエス・キリストは新約聖書の書かれたギリシア語で「ロゴス」と呼ばれています。主イエス・キリストの語る御言葉を通してわたしたちに神の真理は明らかにされます。そういう意味で主イエス・キリストは神の言葉ロゴスであるとしたているのです。そのロゴスである主イエス・キリストが「肉となった」と言われている。こういう言い回しもこの福音書がもっている大きな特徴でしょう。しかしそれは真理を伝えている言葉なのです。

皆さん、わたしたちはヨセフとマリアとの間に生まれた赤ちゃんの誕生をお祝いするために集っているではありません。主イエス・キリストの誕生は、聖霊による、すなわち神の御業であると聖書は語っているからです。

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」。言い換えますと、主イエス・キリストの誕生は神さまがわたしたちを救うために神の独り子をこの世に遣わしてくださったという愛の奇跡であるということなのです。

「言葉は肉となった」。主イエス・キリストは人間になった、と言えはわかりやすいのに、なぜわざわざ「肉となった」と聖書は語るのでしょうか。聖書の「肉」という言葉は「人間」を言い換えたものではなく、もっとも人間的な生き方や存在を表しています。この世に結び付いた生活であり、過ぎ行く儂い命を表します。永遠の神なるものとは全く異質なものであります。たしかに神のような存在が人間の姿をとって地上に現れたという神話は流布してしました。しかしヨハネによる福音書は、神がほんとうに、まことの人間となったこと、つまり儂くて、まったく無力な存在の運命を御子は担ってくださったという事実を伝えているのです。

これはわたしたちにとりまして理解しがたい、しかし聖書の記す一番大切な真理です。そしてそれは大きな恵みである。ヨハネ福音書は語っています。「それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた」と。

神さまはわたしたちの弱さ、むなしさをすべてに担ってくださった。これがクリスマスMASの意味であると言うのです。しかしたぶん「肉」という言葉は、主イエスの十字架の死をも暗示しているかもしれません。主イエス・キリストの生と死すべてのことです。「言葉が肉となった」とは。主イエス・キリストはわたしたちの身代わりとして十字架につきわたしたちを罪から贖ってくださったのです。しかしその十字架は御子の敗北を意味しないのです。キリストは罪と死に打ち勝ち復活されました。主イエス・キリストの死は普通の人たちから見れば滅びであり、敗北であります。しかし信仰を通してその事実を恵みとして受け止めることができるのです。ですから「わたしたち」、つまりヨハネの教会は「栄光を見た」と証しするのです。「わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた」(一六節)と告白するのです。

皆さん、これが主イエス・キリストを救い主として受け入れ信じる者の生き方ではないでしょうか。「わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた」(一六節)。キリストを信じる者には希望がある。喜びがあるのです。病氣や様々な試練―まさに人生の最中でわたしたちはまったく無力であり、命はかないことを思い知らされることがあります。しかしそれでわたしたちの人生は終わりではないのです。「わたしたちはその栄光を見た」。「わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けました」。そういう信仰告白が生まれてくる。喜びや希望の声が沸きあがってくる。そういう救いの体験がわたしたちに約束されているのです。わたしたちはなぜ恵みと真理を得ることができるのか。そのわけはたった一つであります。それはわたしたちの功績や努力の結果ではなく、「恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたから」なのです(二七節)。わたしたちの無力さ、弱さを担うために主イエス・キリストはわたしたちのところに来てくださった。それがクリスマスMASの恵みであり真理であります。もうあなたは一人ではないのです。神の子がともにいてあなたと一緒に歩んでくださるのです。

「わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた」。

わたしたちはそういう信仰告白から新しい歩みを始めたいのです。孤独や不安から、わたしたちはキリストによって解放されたものとしてこのクリスマスをもにお祝いしたい、このキリストの恵みと真理を一緒に分かち合いたいのです。お祈りいたしましょう。